

2024年4月26日
川崎汽船株式会社

取締役会の実効性評価について

当社では、持続的な成長と中長期的な企業価値向上のためには、コーポレートガバナンスが有効に機能することが必須であるとの考えから、毎年取締役会の実効性について分析・評価を行い、その結果を適時適切に開示しています。

この度、2023年度の実効性評価を実施し、その結果がまとまりましたので、以下のとおり概要を報告いたします。

記

1. 取締役会実効性評価の方法

本年度は、全取締役・監査役を対象としたアンケートの結果をもとに取締役会で討議し、自己評価を行いました。

<アンケートの主な項目>

- ・ 取締役会の構成
- ・ 取締役会の運営
- ・ 取締役会の議論
- ・ 取締役会のモニタリング機能
- ・ 社外取締役のパフォーマンス
- ・ 株主・投資家との対話

2. 取締役会の実効性に関する評価結果の概要

アンケート結果をもとにした取締役会での討議の結果、取締役会は概ね実効的に機能していると評価されました。

取締役会の実効性として重要と考える以下の点では安定した評価となっており、取締役会の機能発揮に繋がっていると考えます。

- ・ 十分な審議時間と自由闊達で建設的な議論
- ・ 前年度の実効性評価課題を踏まえた議論と課題の改善
- ・ グループ全体の潜在的リスクと対処方法、危機管理体制等についての議論
- ・ 経営計画の進捗状況のフォローアップ
- ・ 株主・投資家との建設的な対話及び取締役会へのフィードバック
- ・ 中長期の企業価値最大化を動機づける業績連動報酬の議論・設定

一方で、データやデジタル技術の活用などの項目においてはさらに議論を深める余地があることが認識されました。これらの点は今後の取組み課題として認識し、ガバナンスのさらなる向上を図ってまいります。

前年度の実効性評価において課題とした各項目については、以下のように議論・取組みがなされていると評価されました。

<実効性改善に向けた取組みの進捗状況>

- ・ 経営計画の進捗状況のフォローアップ（継続課題）
繰り返し討議されたテーマですが、フォローアップがやや不十分との評価もあり、更なる議論の深化が必要と認識しています。
- ・ 中長期的な資本政策に関する議論（継続課題）
中長期的な企業価値の向上に向けて、課題をさらに絞り込み、議論を深掘りするべきとの認識が共有されました。
- ・ グループガバナンスの強化（継続課題）
特に課題とされたコンテナ船事業統合会社（Ocean Network Express 社）のガバナンス強化については、取組みが評価されて状況は改善されつつあるものの、重要な課題であり引き続き議論が必要との意見がありました。
- ・ データとデジタル技術を用いた価値の創出
アンケートでの評価は前回並みであったものの、より積極的な取組みを求める意見も見られ、継続的な取組みが必要とされる課題と認識しています。

3. 上記分析・評価結果を踏まえた今後の対応

より実効性の高い取締役会の実現に向けて、引き続き以下の項目を取り組むべき課題とし、
不断の改善を行ってまいります。

- ・ 経営計画の進捗状況のフォローアップ
- ・ 中長期的な資本政策に関する議論
- ・ グループガバナンスの強化
- ・ データとデジタル技術を用いた価値の創出

以上